

磐田市

# 桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより

第238号 2024年3月号



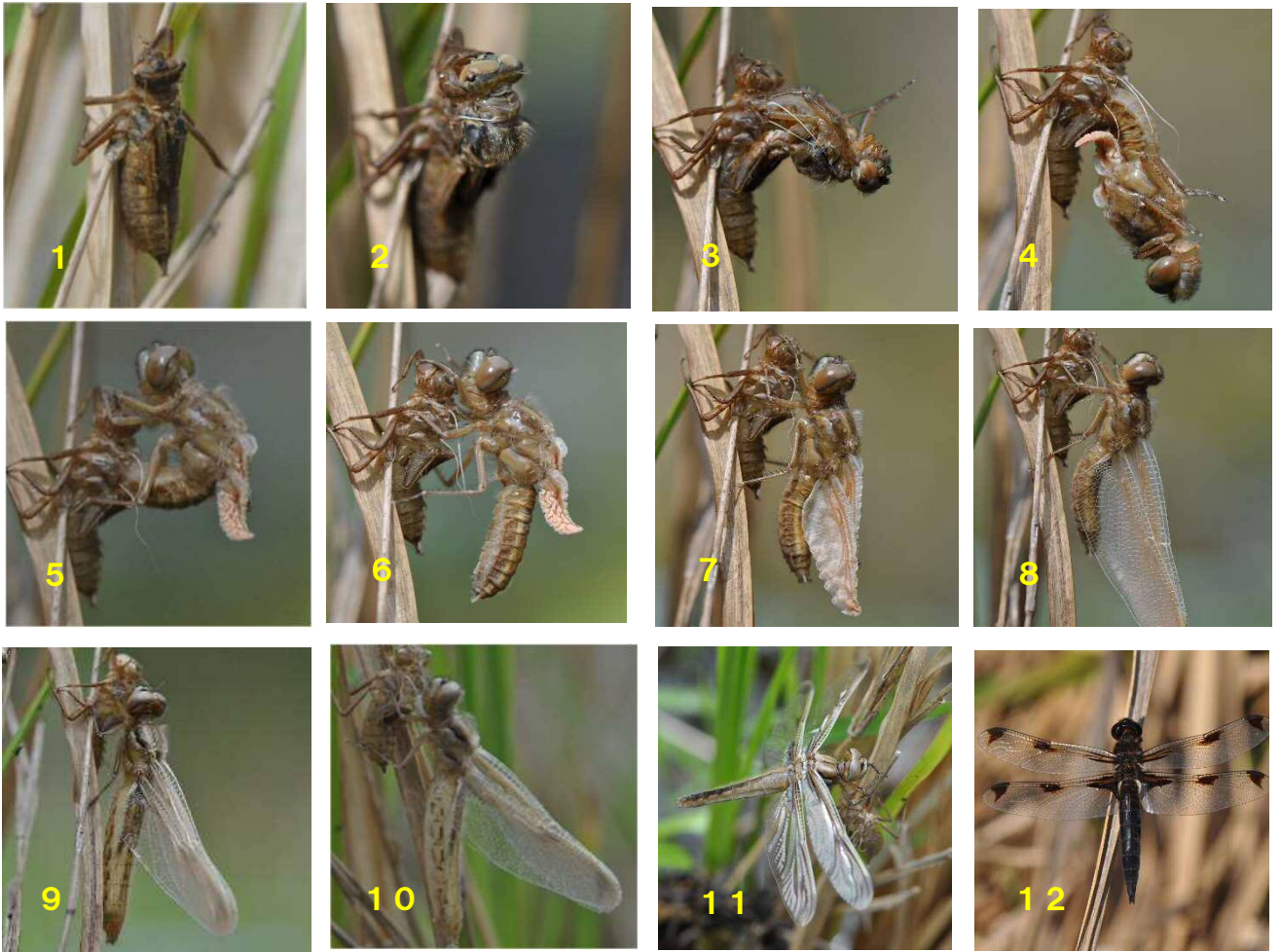
開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地



## もうすぐベッコウトンボにあえますよ

3月になりました。例年通りですと中旬にはベッコウトンボの羽化が始まります。いよいよ桶ヶ谷沼にトンボの季節がやってきます。3月の羽化は朝8時～9時ごろから始まり、開始からおおよそ2～3時間後には飛び立ちます。下の写真は羽化のようすです。



- 1 水から出てきて、しばらくじっとしています。
- 2 ヤゴの背中が割れて殻から頭部と胸部が出てきました。
- 3 反り返り腹部を殻から出します。
- 4 さらに反り返ると腹部全体が出てきます。
- 5 一転して、起き上がって殻につかまり腹部を全て出しきります。
- 6 からだ全体が出ました。まだ翅は伸びていません。腹部も伸び切っていません。

- 7 だんだんと翅が伸びてきます。
- 8 翅が伸び切りました。
- 9 腹部も伸びて、からだがまっすぐになっていきます。
- 10 じっとして、からだと翅を乾かします。
- 11 翅を広げ、いよいよ飛び立つ準備をします。
- 12 羽化から2週間ぐらい経つと成熟したオスはベッコウ色から黒褐色になります。

## ここ5年間のベッコウトンポに関する調査結果から

年	羽化第1号を確認した日	調査会での確認頭数
令和元年	3月20日	102
2年	3月24日	23
3年	3月24日	67
4年	3月25日	380
5年	3月17日	237

「調査会での確認頭数」の数値は調査会当日（4/29頃）の午前10時から11時30分の間を確認した数で、その年の羽化総数ではありません。

桶ヶ谷沼ではベッコウトンポを絶滅の危機から救うため、平成11年から天敵であるアメリカザリガニの駆除や、増殖用の生け簀やコンテナの設置など保護・増殖活動をすすめてきました。その結果その後の20数年間の調査会では100頭から200頭の間で落ち着いた推移をしていましたが、突然令和2年は23頭という危機的な結果となりました。そこで、その年からベッコウトンポだけが産卵できるようにクロスジギンヤンマなど他の天敵を追い払ったり、定期的に餌を与えたり、コンテナ内のヤゴの数の調整をしたりするなどの対策を付け加えました。その結果、翌年は数が増え、令和4年には25年ぶりに300頭を超えました。令和5年の結果は前年を140頭ほど下回っていますが、調査会の結果は天候の影響を受けます。実際の羽化総数は前年を上回っていました。



罎塚に設置したコンテナ

- ・ベッコウトンポだけがコンテナに産卵するよう他のトンボを竹竿で追い払う。
- ・産卵後、網をかけて他のトンボが産卵しないようにする。
- ・定期的にエサ（イトミミズ）を与える。
- ・ヤゴがある程度成長したら、1つのコンテナ内のヤゴの数を調整する。

今後も保護・増殖活動をすすめ、絶滅の危機を回避し、数多くのベッコウトンポが飛び交うかつての桶ヶ谷沼の姿を再現させたいです。

## センター行事のお知らせ（申し込みは直接ビジターセンターまで）

### 「ベッコウトンポ勉強会」

☆ 日時	4月20日（土） 9：30～11：30
☆ 場所	桶ヶ谷沼ビジターセンター、桶ヶ谷沼
☆ 対象	一般（小学生は保護者同伴で、未就学児の参加・見学はご遠慮ください）
☆ 内容	磐田のトンボである「ベッコウトンポ」の生態と保護活動の取り組み、桶ヶ谷沼の自然について学びます。羽化のようすも見ることもできません。雨天の場合はセンター内で講話を実施します。
☆ 服装・持ち物	野外観察ができる服装（長そで、長ズボン、帽子）、水筒、タオル、双眼鏡（ある人）、少雨の場合カッパ ※水はけの悪いところに行きます。2～3日前が雨天の場合は長靴または汚れてもいい靴をご持参ください。
☆ 募集人数	20人